

公衆衛生学期末試験（2004年2月5日 14:30～16:00）

回答上の注意

- 回答は回答用紙に記入し、回答用紙のみを提出してください。問題用紙は持ち帰ってください。

問1

以下の文 (a)～(z) の中には、正しいものが少なくとも 10 個あります。回答用紙の記号のうち正しいものをつけてください。正しい回答 1 つにつき 3 点を加点し、間違った回答 1 つにつき 3 点を減点します（例えば正答が 8 個で誤答が 2 個あった場合は 18 点となりますし、正答 7 個だけの場合は 21 点となります）。ただし下限を 0 点、上限を 30 点とします。

- (a) ウィンスロウによる公衆衛生学の定義は、「共同社会の組織的な努力を通じて、疾病を予防し、寿命を延長し、身体的・精神的健康と能率の増進をはかる科学・技術」である。
- (b) 集団の健康を知るためのモノサシを健康指標といい、病気や死の多少によって間接的に評価しようとする指標よりも、直接的に健康を測る指標が多く使われる。
- (c) 地域保健活動を進める上で把握すべきニーズは、専門家の意見とは無関係に、住民自身が自発的に出した主体的要求でなければならない。
- (d) 広い意味での公衆衛生行政には、大別すると、主に厚生労働省が所管する一般公衆衛生行政と労働衛生行政、主に文部科学省が所管する学校保健行政、環境省が所管する環境保健行政が含まれる。
- (e) 保健所は、地域保健法により、都道府県、地域保健法施行令によって指定された市（政令市）だけが設置する。
- (f) 化学物質のリスクアセスメントにおいては、量-影響関係や量-反応関係に関する知見をまとめて整理した環境の質の判定条件に加えて、曝露量のアセスメントが必要とされる。
- (g) 医療保険は、被用者保険と国民健康保険に大別される。国民健康保険の場合、被保険者が国となる。
- (h) 地域保健は、総合保健／包括医療的な考え方で、地域住民がその生活基盤の中で自らの健康の保持増進を図れるように必要な保健技術を地域社会に見合った形で組織的に提供し、その健康生活を支援していく一連の活動過程であり、1960 年代以降、世界的に提唱されてきた。
- (i) プライマリヘルスケアはオタワ宣言で初めて提唱された。
- (j) 年齢別女子人口でその年齢の女子による出生数を割った値を年齢別出生率と呼び、年齢別出生率を全年齢について合計した値を合計出生率（TFR）と呼ぶ。日本の少子化問題で 1.38 などという数字が挙げられるのは、この値である。
- (k) 出生 1000 当たりの生後 1 年未満の死亡数を新生児死亡率という。年齢調整死亡率、平均寿命と並んで、地域の衛生状態をあらわす 3 大指標の 1 つであり、生活文化水準を反映する指標として国際比較にも使われる。
- (l) 平成 14 年に厚生労働省から発表された「VDT 作業における労働衛生管理のためのガイドライン」の元になった調査結果によれば、VDT 作業を行っている作業者のうち、精神的疲労を感じていると回答した人が、身体的疲労を感じていると回答した人の 2 倍以上も存在した。
- (m) 母子保健行政は、健診事業（妊婦健康診査、乳児健康診査、1 歳 6 ヶ月児健康診査、3 歳児健康診査）、保健指導、医療援護、基盤整備の 4 つを柱とする。

- (n) 学校保健のうち、保健指導とは、教科で直接的・計画的に行われる学習を指す。
- (o) 1999年の精神保健福祉法改正の基本的な考え方は、それまでの都道府県中心の施策から市町村中心の地域密着型事業整備への転換であった。福祉施策としては在宅精神障害者への福祉施策の充実が目玉であり、ホームヘルプやショートステイ制度が法定化された。
- (p) 精神的健康度の評価の目的は、曖昧に把握されがちな精神的健康度に対して、全世界どこでも通用するような、正常・異常/健康・不健康という画一的な評価を確立することである。
- (q) 国際疾病分類 (ICD) は、WHO の前身である国際会議の協議によって 1900 年に制定され、以後約 10 年ごとに改訂されてきた。第 9 回修正国際疾病分類 (ICD-9) までは 4 桁の数字で分類されていたので最大でも 9999 種類しか分類できなかったが、1995 年からの ICD-10 では最初の文字を U 以外のアルファベットにしたので最大 24999 種類まで分類できるようになった。
- (r) 予防医学には、一次予防、二次予防、三次予防とあるが、このうち一次予防は非特異的予防としての健康増進を指し、二次予防は特異的予防を指し、三次予防は早期発見と早期治療を指す。
- (s) 保健所の現在の事業の内容は保健所法の第 6 条と第 7 条に定められた 18 項目である。
- (t) 1957 年に成人病予防対策教義連絡会が厚生省に設置されたときから、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患などの成人・老年期に多く特徴的な疾患は、成人病と呼ばれるようになった。日本では、1951 年に結核を抜いてからはずっと心疾患が死因の 1 位だったが、減塩運動などのおかげで近年激減し、1980 年代に悪性新生物や脳血管疾患よりも死亡率が低くなった。
- (u) 1997 年から厚生省公衆衛生審議会の提案により、それまで成人病と呼ばれていた疾病は生活習慣病と呼ばれるようになった。
- (v) 日本で 65 歳以上の高齢者がいる世帯の数は最近 25 年間に倍増し、2000 年には全国で 1500 万世帯を超えていて、全世帯の約半数である。
- (w) 放射線というと、ある閾値以上の曝露を受けると細胞の壊死などの急性影響を起こし、弱い曝露でも発ガンのイニシエータ作用をもつ電離放射線がイメージされるが、可視光線のような非電離放射線も含まれる。植物が光合成によってそのエネルギーの 0.6 ~ 4.5 % を固定し、生態系へのエネルギーフローの入口となるという意味においては、放射線も生物にとっての資源の 1 つである。
- (x) 国際協力で重要とされる適正技術とは、現地の人が使えて現地の人がメンテナンスでき、現地の経済力で維持可能な技術支援をいう。
- (y) 1854 年にロンドンのブロードストリートで大流行があった際に、コレラ死亡者の発生地図、死亡の日別分布表を作成し、詳細な症例検討を加えて、流行の原因となった共同井戸のコレラ菌汚染を突き止めた Snow の研究は、介入研究の草分けである。
- (z) 疾病指標の標準化とは、通常、集団によって年齢構造が異なることの影響を取り除くために、年齢によって層別して重み付き平均にすることをいう。

問 2

次の文のそれぞれについて、() 内の選択肢 a ~ d から最も適切な記号 1 つに をつけなさい。

- (1) 平成 13 年の (a: 患者調査, b: 一般健康診断, c: 国民生活基礎調査, d: 世論調査) による有訴者率は、65 歳以上では男女とも約半数に達していたが、症状の 1 位は男性が腰痛で女性が肩こりであった。
- (2) 地球環境問題の中で、森林減少については、地球全体で、毎年日本の面積の約 (a: 2 倍, b: 1/2, c: 1/3, d: 3 倍) にあたる森林が減少しているとされる。

- (3) SARS は「重症急性呼吸器症候群」と呼ばれ、主な症状は 38 以上の発熱、咳、息切れ、呼吸困難などであり、胸部レントゲン写真で肺炎または呼吸窮迫症候群の所見（スリガラスのような影）が見られる。また、頭痛、悪寒戦慄、食欲不振、全身倦怠感、下痢、意識混濁などの症状が見られることもある。（a: ベトナム, b: シンガポール, c: 香港, d: 中国）に端を発し、旅行者の移動に伴って世界中のいくつかの国に感染拡大した。
- (4) スポーツ時の暑熱障害予防の指標として今でも使われている（a: 有効温度, b: 不快指数, c: 湿球黒球温度指数, d: 新有効温度）は、1957 年にヤグロウによって提案された。
- (5) 健康日本 21 策定の直接的なきっかけは、（a: 米国の Healthy People 2000, b: WHO の Health for all, c: 少子高齢社会の到来, d: ヒトゲノムプロジェクト）である。
- (6) 放射線の測定単位は 3 種類を区別する必要がある。放射線源の強さ、被照射物に吸収されるエネルギーの強さ即ち吸収線量、被照射物が生物であるときに生物への影響の強さを含めて考える線量当量の単位は、順に、（a: グレイ・シーベルト・ベクレル, b: シーベルト・グレイ・ベクレル, c: ベクレル・シーベルト・グレイ, d: ベクレル・グレイ・シーベルト）である。
- (7) 衣料の防縮加工の過程では、発ガン性がある（a: グルタルアルデヒド, b: アセトアルデヒド, c: ホルムアルデヒド, d: アセトン）が使われるので、溶出試験を行うことが法律により定められている。
- (8) 健康増進法に定められている特別用途食品には、乳児用調製粉乳、咀嚼困難者用食品、低たんぱく質高カロリー食品など、特別の用途に適するものとして厚生労働大臣からその旨表示することを許可された食品に加え、「食生活において特定の保健の目的で摂取をする者に対し、その摂取により当該保健の目的が期待できる旨の表示をする」ことを個別審査によって厚生労働大臣から許可された（a: 特定保健用食品, b: 健康食品, c: 機能性食品, d: 栄養機能食品）が含まれる。
- (9) オゾン層破壊の原因となっていたフロンガスの排出は、1987 年にモントリオール議定書締結によって規制された。環境中に残留し生物に蓄積される 12 の有害化学物質についても、2001 年に 127 カ国が参加して（a: オタワ, b: リオデジャネイロ, c: ストックホルム, d: 東京）で行われた外交会議において、マラリア対策用の DDT を除いて POPs 条約として採択された。
- (10) 妊娠、分娩、産褥に直接関連する疾病や異常によって母性が死亡した場合を「妊産婦死亡」または「母性死亡」といい、妊産婦死亡率は出産または出生 10 万当たりで表す。2000 年日本は出生 10 万あたり 7.1 ときわめて低いが、2003 年 10 月に世界保健機関（WHO）・国連児童基金（UNICEF）・国連人口基金（UNFPA）によって発表された妊産婦死亡に関する新たな調査結果では、サハラ砂漠以南のアフリカに住んでいる女性は出生 16 あたり 1 であり、UNFPA は途上国で『適当な間隔で出産し、出産時に専門技能者の立会いがあり、緊急産科ケアを受けられるために、自発的な家族計画に女性がアクセスできるようにする』ことを目指して妊産婦健康プログラムを強化している。日本における妊産婦死亡の主な死因は（a: 出血, b: 心筋梗塞, c: 卵管閉塞, d: AIDS）と妊娠中毒症である。
- (11) 環境問題に対処するためには、環境リスクに関する正確な情報を、行政・事業者・国民・NGO・専門家などすべての者が共有しつつ、相互に意思疎通を図ることが必要だという指摘が近年なされている。このような考え方を（a: リスクアドミニストレーション, b: リスクマネージメント, c: リスクコミュニケーション, d: リスクアセスメント）という。
- (12) 健康寿命を計算するために必要な値は、ある年の年齢別就床率と、（a: その年の年齢別人口, b: その年の年齢別死亡率, c: その年の全死亡者の年齢, d: その年の出生数と年齢別死亡数）である。
- (13) 近年の日本の合計出生率低下の主な原因は、（a: 平均初婚年齢と生涯未婚率の上昇, b: できちゃった婚の増加, c: 離婚率の上昇, d: 有配偶出生率の低下）である。

- (14) (a: 特別養護老人ホーム, b: 老人保健施設, c: 老人病棟, d: 市町村保健センター)は,老人保健の中間施設であり,入所できるのは,病弱な寝たきり老人,病弱で寝たきりに準ずる状態にある老人,及び痴呆性老人である。
- (15) 公衆衛生の考え方を支える法的基盤のうち,最も根幹にあるのは,(a: 保健所法第1条, b: 医療法第1条, c: 憲法第20条, d: 憲法第25条)「すべて国民は,健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。2.国は,すべての生活部面について,社会福祉・社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない」である。

問3

次の文のそれぞれについて,()に補うべき適切な語句を答えなさい。

- (1) 2000年に成立・施行された「()に関する法律」によって,学校や医療機関の職員らが児童虐待を発見した場合には児童相談所への通告義務が課され,児童相談所長らは保護した児童と親との面会や通信を制限できるようになり,近年の児童相談所への相談件数が激増した。
- (2) HACCPは,危害分析・重要管理点システムと訳され,()法第7条の3に定める総合衛生管理製造過程による衛生管理及びその前提となる施設設備の衛生管理等を行うことによる,総合的に衛生が管理された食品の製造又は加工の工程を意味している。
- (3) 国民医療費は,1955年2388億円から増加の一途を辿り,1999年には30兆9337億円に達したが,2000年度には1.9%減少した。これは本質的減少ではなく,()法の導入によって費用の分類が変更されたためである。
- (4) 「国民の老後における健康の保持と適切な医療の確保を図るため,疾病の予防,治療,機能訓練等の保健事業を総合的に実施し,もって国民保健の向上および老人福祉の増進を図ること」を目的として制定された法律は()法である。この法律の特徴は,予防,医療,リハビリテーションを制度化し,包括医療を考えている点にある。
- (5) 近年の日本の感染症対策としては,1983年にトラホーム予防法が廃止され,1994年に寄生虫病予防法が廃止され,1996年にらい予防法が廃止された後,1998年に伝染病予防法,性病予防法,()法が統合されて「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(感染症予防医療法)となって,結核を除き総合的に対策されるようになった。

問4

公費負担医療の目的を大別すると5つある。すべて書きなさい。

問5

純再生産率(NRR)について,求め方と意味を簡潔に説明しなさい。